

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

CL:保木本 西 木村 花本

2. 山行スタイル

沢登り

3. 目的

沢登りを楽しむ

4. 山域／ルート

台高 蓮川 スタハラ谷

5. 交通手段

自家用車

6. 行動記録

< 入山日 2025年9月15日(月) 下山日 9月15日(月)>

9月15日(月)

駐車地 8:30 → 入渓 9:30 → 夫婦滝 10:30 → 不動滝 13:00
→ 桧塚奥峰 15:00 → 桧塚 → 駐車地 17:30

7. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定通り

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか？

特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

特になし

8. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

夫婦滝は、手前の尾根から高巻き、ところどころ踏み後あり。夫婦滝から上流の高巻きは明瞭。

9. 感想

保木本

1回目 3人で夫婦滝よこを高巻きマルチピッチで敗退。2回目 2人でいって高巻きも確認できいけるだろうと思って突っ込んだら今度は落石にあたり敗退。ただ高巻きルートを確認できたのは良かった。3回目 やっと最後までいけました。ルートとしては夫婦滝までは荒れてるなと思ってましたが夫婦滝より上は大変綺麗な沢でした。ここはヒル地獄ですがヒルにも合わず。宿題がやっと片付いてほっとしています。一緒に行ってくれた皆様、ありがとうございます。来年は本命の 魚野川リベンジしましょう。

西

今年、2 回目のチャレンジ。昨年は夫婦滝でかなり時間がかかってしまい敗退。「今回こそ」という気持ちで挑んだ。夫婦滝の高巻きは前回おおよそのルートをホッキーと確認済み。10 時半、いい感じで夫婦滝に到着。いよいよ高巻き。予定していたルートで中段、上段の滝を巻いた。初めの方はあまり明瞭ではなかったが、後半になると明瞭なふみ跡が確認でき、思った以上に簡単に滝の落ち口に出ることができた。滝の落ち口から眺めた夫婦滝の上段の滝は綺麗だった。でも、つくづく初見の難しさを痛感。それ以降は、ナメや登れる滝をどんどん進み不動滝に到着。ここも高巻き。いくつかの滝を高巻きしたが、一か所だけロープを出した。高巻きはやっぱり危うい。登れると思って登りだしても途中で悪くなったり、その時の対処が難しいなあ……と思った。素直に沢筋を詰めていくと明るい空が見えた。藪漕ぎもなく草原に出、稜線へ。風が気持ちいい。目の前に広がる山並みを眺めながら歩く。楽しいハイキングだ。桧岳奥峰、桧岳で写真を撮り、結構急な下降をしながら林道に出た。長かった。今回、5 匹くらいの蛇と遭遇した。怖かった。ヒルも予想通りいたが、被害はあまりなかった。念願のヌタハラ谷を頂上まで詰められてほんとによかったです。同行してくださったメンバーに感謝です。

木村

夫婦滝の高巻きはリーダーのアドバイスによって良いルートどりができました。途中の小さいギャップで足が滑って、下にいたリーダーにキャッチしてもらった。ツンツルテンのフェルトシューズだとやっぱりダメだなあ。前はフェルトがすり減るとフリクションが低下すると、気を使っていたが、最近は無頓着でした。反省します。不動滝の高巻きは明瞭であった。奥の二俣で右俣を詰めて檜塚にダイレクトに突き上げるつもりが、ポーと歩いていたので通り過ぎてしまった。休憩の時に GPS を確認したら奥の二俣を過ぎていた。このまま沢を詰めても下山が長くなるだけなので、即脱渓してボサの少ないところを選んで歩く。やぶ漕ぎなしに登山道に出た。稜線は眺めがよく楽しく歩けます。ガイド本では初級になっているが夫婦滝の高巻き以外にも、きわどい巻きもあり、初級沢とは思えなかった。今回のヌタハラ谷が沢納となりました。今年も楽しい沢登りができました。みなさま、来年もよろしくお願いします。

花本

魚野川が悪天候の予報で中止となり転戦でヌタハラ谷に決まった。記録を見ると夫婦滝の巻きが難いらしい。リーダー保木本さんと西さんがこれまで 2 回挑戦していて今回 3 回目とのこと、絶対最後まで登ると気合いを入れた。事前準備で YouTube を見たがやはり夫婦滝の巻きがかかなり大変そう、加えてヒルにも注意が必要だ。沢に入り小滝をいくつか登ると流木と右側に崩壊した斜面が見えた。ここが夫婦滝の巻きだそうに登り初めた。保木本さん西さんの情報のおかげで YouTube で見たルートと違ってなんとか登れた。事前情報の核心を突破したので少し安心したものものそんなに甘くはなく、不動滝の巻きが自身にとって核心になった。足場も悪く木の根を頼りに登るが段差があって止まった。右上の木の根はしっかりしているが左手は土しかつかめない。体を上げた後左足を置く場所が谷側に傾斜した岩しかなくしかも泥だらけだ。そんな感じでごそごそしていたら、見かねた保木本さんからそこでセルフとって一ロープ出すから！と声が掛かる。でも木の根は半分土の中でスリングが通せない。最初指でほじくっていたがギアラックに小型のスコップがあることに気付く。小さくても道具は道具、無事穴を開けてなんとかセルフをとってロープで上がった。奥の二俣からは水量も減り穏やかな溪相となる。今回は直進し桧塚奥峰までを登るルートを選択した。奥の二俣から高度 100m ほどでまた二俣がある。ここを右に入りしばらくして尾根から稜線へ抜けた。稜線は視界も良く風を感じて快適だった。下山道は長くて急な尾根が厄介だが後半の林道は会話も弾み楽しく無事駐車地に着いた。最後帰りの着替え中に油断していて左足の親指をアブに刺されたのが辛かった。アプローチと下山道が長いですが綺麗な滝が沢山ありいい沢でした！リーダー保木本さん、西さん、木村さんありがとうございました！？



夫婦滝にて



桧塚

報告者氏名 保木本 真人 2025 年 9 月 24 日